

近畿 化学工業界



きんか 2022 11

クラフト酒の薫り ―和歌山に思いをはせる―	1
多中良栄・木村美和子・岡井沙織	
ラテン語の諸相	4
増田俊夫	
筆者のヨコ顔	8
「キンカ・CA」お知らせ	9
キンカ行事予定	10
第389回・第390回キンカ京都化学者クラブ	11
第160回 キンカ東京サロン・リモート開催のお知らせ	16
ECHO	表3

会誌編集委員

今田泰嗣 (徳島大・委員長)	高橋一志 (神戸大院理)
川崎昭彦 (ナード研究所・副委員長)	田中大司 (長瀬産業)
杉野日道紀 (京大院工・副委員長)	鶴田仁志 (クラレ)
上田厚 (産総研)	中 建介 (京工繊大院芸工)
上田勉 (富士色素)	長田治生 (三協化成)
大野充 (ダイセル)	橋爪章仁 (阪大院理)
小野大助 (大阪技術研)	樋口悦正 (日立プラント)
勝村能貴 (日東化成)	前田壮志 (阪公立大院工)
神田彰久 (カネカ)	南方聖司 (阪大院工)
霧山晃平 (東洋紡)	森田悠司 (田辺三菱製薬)
河野克之 (日本触媒)	依光英樹 (京大院理)
〈協力委員〉	
松本章一 (阪公立大院工)	澤田みさき (イーストマンケミカル)
片岡義晴	山崎友紀 (法政大)

今月の表紙

「ジオサイト救馬溪」

(和歌山県西牟婁郡上富田町生馬)
西牟婁郡上富田町生馬の救馬溪は、小栗判官ゆかりの地だ。小栗判官と照手姫が湯の峰温泉へ行く途中、動けなくなった愛馬が救われたことに感謝し、堂宇を再建し救馬溪観音と名付けたとされる。

その救馬溪観音へと石段を進んで行くこと、断崖に囲まれた瀧王神社に着く。その霊気漂う祠の奥あたりに二千万年の不整合面が見られ、周囲の岩壁にできた虫食い状の無数の穴とともに、大地の雄大な時空が感じられる。
写真・文 竹田元則

広告

株式会社ダイセル	表3
三洋化成工業株式会社	表3
長瀬産業株式会社	表3

一般社団法人近畿化学協会

二〇二三年 新春セミナー ご案内

恒例の新春セミナーは、左記の通り、対面・オンライン式の併用にて開催しますので、ご都合お繰り合わせのうえご参加ください。また、本セミナーは、二〇二三年には大阪・関西EXPOが控えています。中小企業の取組を事例に万博への挑戦をお伝えします。関西の経済成長には万博の成功がキーとなっていますので、このセミナーが万博への機運醸成につながればと思います。

【中止】とさせていただきますので、ご了承願います。

記

開催形式 二〇二三年一月一日(火) 午後三時～五時三〇分
対面式 大阪科学技術センター四階四〇一号室
オンライン式 Zoomによるライブ配信

講演 万博への挑戦～私たち・関西の未来～ (三時一〇分/四時一〇分)
株プロアジスト代表取締役社長・関西経済同友会代表幹事 生駒 京子氏

今、関西にはインバウンドでの入国制限がなくなり、円安をメリットとした活動が始まっています。これからの関西にはたくさんイベントがあります。そして二〇二五年には大阪・関西EXPOが控えています。中小企業の取組を事例に万博への挑戦をお伝えします。関西の経済成長には万博の成功がキーとなっていますので、このセミナーが万博への機運醸成につながればと思います。

二、素粒子ミューオンで明らかにした小惑星リュウグウの素性

太陽系科学の最前線
大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 教授 健太郎氏

「私たちはどこから来て、どこへいくのか？」私たちの研究グループでは、そのヒントが地球に飛来する隕石や小惑星から回収した微粒子にあると考え、分析を行なっています。新春セミナーでは、隕石から明らかになってきた太陽系の最新像についてご紹介いたします。さらに我々が「はやぶさ2」試料分析を目指し開発してきた世界初のミュオン非破壊分析法と、C型小惑星リュウグウの分析結果についてご紹介いたします。

参加費 会員無料 申込締切 十二月二日(水)
定員 対面参加 七〇名、オンライン参加 二〇〇名
参加申込方法 近畿化学協会ホームページ (https://kinka.or.jp) より
お申込みください。
※パソコン・タブレット、マイク等、オンライン配信ツール利用に
際しての必要な機材・設備は各自でご準備ください。
※参加申込者には、「二月五日頃」に「接続ID」等の情報をEメールにてお届けします。

連絡先 一般社団法人 近畿化学協会

〒550-0004 大阪市西区朝本町一八八-四
電話 〇六-六四四一-五五三一
Eメール mail@kinka.or.jp

